

日本災害看護学会JSDN / 第44号 2022年 12月 1日

【事務局】日本災害看護学会事務局（株式会社ガリレオ学会業務情報化センター）
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1-4F TEL.03-5981-9824 FAX.03-5981-9852
http://www.jsdn.gr.jp/ e-mail : g034jsdn-mng@ml.gakkai.ne.jp

第24回年次大会 お礼

第24回年次大会 大会長 竹崎 久美子

日本災害看護学会第24回年次大会は、2022年9月3日（土）のライブ配信日を中心に、8月26日～9月22日迄のオンデマンドによるオンライン開催とさせていただきました。76題の一般演題と6題の交流集会・ワークショップ、5つの学会企画、それに参加登録780余名と目標参加人数を上回る参加ご登録をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

開催地高知としてはぜひ高知にお越しいただきたかったのですが、2022年に入り、covid-19のオミクロン株への変異の報を受けた時点で、まさにこの世界的な災害と闘う皆様方が、何より安心して、ご自分の時間で参加いただけることを最優先することを決意いたしました。結果的に第7波真ただ中の会期となり、ご視聴いただく皆様も大変な時期であったことと存じます。また慣れないオンライン開催ではご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今大会の新たな試みとしては、4会場を配置したライブ配信や、一般演題についてもオンデマンドを併用しながらライブ質疑の時間枠を設定しました。また看護基礎教育の学生さんによる交流集会などもありました。市民公開講座と共に、高知県地元企業による防災用品の紹介を含む企業展示も一般公開とし、市民公開講座には、大会主要プログラムの平均視聴回数の約2倍近い視聴アクセスをいただくことができました。

改めて、皆様方のご協力とご支援に深謝申し上げますと共に、2023年こそは皆様と直接お目にかかれたいことを、心から祈念しております。

先遣隊活動報告（令和4年8月豪雨） —福井県南条郡南越前町での活動—

理事長 酒井 明子

令和4年8月豪雨災害で被災されたみなさまにはこころよりお見舞い申し上げます。

8月3日以降、低気圧に伴う前線により北海道・東



北・北陸地方を中心に記録的な大雨となり、河川の氾濫、土砂災害が発生し、人的被害・住家被害が発生した。福

井県南越前町で、8月4日に線状降水帯が確認され、大雨の影響により鹿蒜（かひる）川が氾濫し、1,093戸が断水、斜面崩壊や土砂流出により多くの道路が損壊し、嶺北地方と嶺南地方を結ぶ鉄道や道路など交通の大動脈が分断され孤立集落が点在した。このため、8月7日から13日にかけて日本災害看護学会先遣隊は被災地に入り、被災住民等の健康管理や医療ボランティアのコーディネート、関係機関との調整を行った。

健康管理は、水害被害によるこころと身体の健康管理チェックシート（①身体面の症状、②生活・行動面、③心理・思考面、水害特有の症状、熱中症の症状）を用いて延べ129名実施した。被災住民からは、「疲れやすい」「頭痛・筋肉痛」「胃腸症状」「不眠」「不安・恐怖」「目のかゆみ」などの症状が確認され、地元の保健師や診療所に繋いだ。ボランティアへは被災者の現状と注意点のオリエンテーション、休息の取り方や健康状態の確認を行った。



今後の課題は、中長期にかけての精神的な継続支援、早期に福祉避難所が開設できるように施設と協定締結、要配慮者に対し実効性のある個別避難計画や地区防災計画の策定、まちの再建を視野に入れた災害ケースマネジメントやワンストップサポート体制の構築、派遣のコーディネート体制構築、官民連携による支援体制および倫理調整が重要であることを確認した。

あなたも“まちの減災ナース指導者”になりませんか？

まちの減災ナース指導者育成委員会 委員長 松岡 千代

日本災害看護学会認定「まちの減災ナース指導者」の養成は、今年で5年目となりました。「まちの減災ナース指導者」は、地域の防災・減災活動への参加や研修会・訓練の講師などの地域密着型の活動をとおして災害看護の知識や技術の普及、災害時の支援活動、そして地域での減災活動ができる人材として「まちの減災ナース」の育成ができることを目指して養成研修を行っています。このように、まちの減災ナース指導者に求められる目標は高いではありますが、地域での災害看護活動に関心があり、仲間を増やして活動をしていきたいという希望をもっておられる会員の皆様であれば、養成研修を乗り切っていけると思います。養成研修では、地域減災に関する講義やグループワーク、先輩指導者との交流も企画しており、様々なアドバイスを受けることもできます。

先輩指導者のネットワークもできつつありますが、まだまだ指導者自体の人数が少ない地方・地域も多く、活動の輪を広げていくためには会員の皆様に指導者となっていただくことが必要であります。養成研修の日程は、例年11月：2日間、2月：2日間、5月：1日間の計5日間、研修形式は対面とオンラインの併用、次年度の募集は2023年9～10月に行う予定です。皆様、どうぞ応募に向けてのご準備をお願いいたします。

新委員会「災害看護ケアの質向上委員会」のご紹介

災害看護ケアの質向上委員会 委員長 河原 宣子

（一社）日本災害看護学会は、1998年の設立以来、災害看護に関する知識体系の確立、災害看護に関する活動体制及び方法の開発、災害看護学としての教育プログラム体系の確立、災害看護に関する国際的研究ネットワークの開発など、災害看護に関わる諸処の課題に取り組んできました。約25年間の時間軸において、国内外で発生する多種多様な災害を経験しながら、地域や人々によりそい、看護の叡智を集め、共有し、真摯に批判しあう学会組織の活動を実践してきました。そして、これまで蓄積された活動を基盤とし、2021年度より、災害看護に関する活動体制及び方法の開発、災害看護学としての知識体系・教育プログラム体系の確立、災害看護に関する国内・国外ネットワークの発展を目的として活動を開始しています。

特に、災害看護に関する活動体制及び方法の開発において、災害看護ケアの質向上委員会が立ち上がりました。本委員会では、先人たちの智恵と想いを糧に、「災害看護ケアにおけるエビデンスの検討」「災害看護におけるケア内容の検討」「災害看護ケア提供体制の検討」を実施していく予定です。そこで、委員会では本学会会員であり災害看護CNSの有志の方々によるワーキンググループを立ち上げます。ワーキングでは「災害看護」

の概念分析に始まり、「各災害サイクルにおける被災者支援」、「個人・家族・組織・地域における防災・減災に向けた諸活動」等のケア内容を検討していく予定です。検討結果は今後、会員の皆様に還元してまいりますので、多くのご意見を頂戴できれば幸いです。

Series委員会活動！「ネットワーク活動委員会」

ネットワーク活動委員会 委員長 大山 太

ネットワーク活動委員会は、ネットワーク活動調査・調整部の皆様と協力し国内災害時の看護ニーズについて調査・情報収集を行い、そのデータを蓄積し、災害看護学の構築に貢献することを目指しております。

さて、そもそも災害対応のための情報収集はどのように行われるべきでしょうか？ 今ではインターネット経由ですぐに多くの情報を得ることができます。また情報発信もしかり、いつでも誰でも発信者となれます。素晴らしいことです！ しかし一方で問題もあります。大量の玉石混合の情報から真の情報を探す手間が必要になりました。また、情報通信技術を使いこなせる人と苦手な人の格差が広がってしまっていることも問題です。情報通信技術を使いこなさず、いち早く情報を発信できた人の声はどうしても大きくなりますが、それは必ずしも全ての民意ではないのです。もっとも、これは大手マスコミや公的機関から発信される情報も同じです。それぞれ発信者の興味・立場によって出てくる情報は偏向します。平時でもこのような状況ですから、特に災害時の情報収集はとても難しく、「声なき声」をどう拾うかは災害支援の勝負の分かれ目となります。特に災害時の看護支援戦略を立てるには、看護職にしか聞かえないこの小さな声を一つ一つ集めることがなによりも大事だと思っております。それにはネットやマスコミ報道だけに頼ってはだめです。そこで全国に広がる個人・組織会員の皆様個々が災害看護Agentとして情報提供いただければ、それを集約分析し次の災害看護支援につなげることができます。そのように考え委員会も尽力致しております。今後とも学会活動へのご支援・ご協力何卒よろしくお願い申し上げます。

編集後記

第44号ニューズレターは、第24回年次大会の開催の報告と、8月の豪雨災害での先遣隊活動報告を掲載させていただきました。年次大会ではオンデマンドのライブ配信を中心にコロナ禍であっても工夫したくさんの方に参加していただけたと報告されています。次回の年次大会では通常の開催が望まれます。また、8月の豪雨災害では酒井理事長から先遣隊の活動報告がなされました。最近では8月に続き9月も台風や集中豪雨のため、日本各地より被害が報告されています。経験を知恵として次の災害に備えることができたらと考えています。他にはネットワーク委員会の活動や、災害看護CNSの有志の方々による新しい委員会「災害看護ケアの質向上委員会」の報告を掲載させていただきました。新しい委員会も含めて会員の皆様にニューズレターを通して、災害への備えをともに考えていただける場となるよう一層内容を充実させていきたいと考えています。（社会貢献・広報委員会 委員 夏目 恵美子）